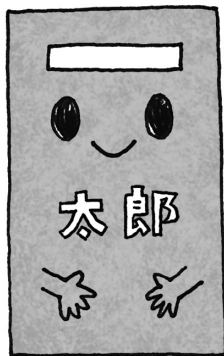


ポスト太郎



作・宮ツひろ

絵・森シホカ



ぼくは三年一組の教室にかけられているポストです。担任の八木省吾先生が五月の連休中に、細長い厚手のボール箱で作ってくれました。そして、クラスみんなにあてた手紙も用意しました。

担任になって一カ月がすぎました。

一人ひとりともっと話したいと思うけれど、なかなか時間がとれません。

手紙で話そうよ、うれしいこと、困っていること、なんでもいいよ。手紙にしてポストへ入れてください。へんじをかくからね。待っています。

こんな手紙までかいたのに、省吾先生は気持ちがかわっ

たようです。

ポストに顔をかきました。目は大きくて口もとは笑っています。あいきょうのある顔になりました。顔の下に「太郎」と名前までかいて、その下にはお腹をおさえているような二つの手もかきました。

ポストを教室の入口に近い壁にかけると、そのとなりにもわら半紙を四つに切った手紙用の紙も、大きな状さしいっぱいに用意しました。

——先生にあててかくより、太郎にあててかくほうがかきやすいよなあ——

そんなひとりごとをいうと、子どもにあてた手紙もかきかえました。